

地震に強い「防災都市まちだ」をつくれます!

Yoshihiko KOISO
東京都議会議員 **こいそ善彦**



こいそ通信

Vol. 54
発行 こいそ善彦後援会
〒194-0021 東京都町田市
中町4-8-18

<http://koiso.org>

町田消防署の新築・移転に奔走!

町田市の防災対策の軸を担う町田消防署の庁舎は、築50年と、以前から老朽化が指摘されてきました。大震災発生時に消防署が倒壊すれば、ポンプ車や救急車、はしご車などが機能せず、消防や救急活動に支障をきたすからです。そこで、こいそ善彦は、都議会特別予算委員会などで、町田消防署の建て替えを強く訴えてまいりました。こうした粘り強い訴えに対し、市は木曽山崎地区の学校跡地の提供を約束。新・消防署建設がついに現実のものとなりました。



現在の町田消防署

スタンドパイプの配布で飲料水の確保を!

災害時にもっとも心配されるのが、飲料水の確保です。これまでも、こいそ善彦は川崎市との水の相互融通など、災害時の飲料水確保に取り組んできましたが、さらにスタンドパイプによる避難時の給水方法を提案。スタンドパイプを使うと、消火栓から直接給水できるため、断水時や、学校やマンションなどの受水槽が停電で動かなくなったときに、大いに力を発揮します。夏以降から順次、スタンドパイプ式給水キットが小中学校の避難所に配布されますので、住民や町内会の皆さんが自主的に活用していただければ、断水時でも安心です。



ハイパーレスキュー隊の配備が実現!



新潟・中越地震や東日本大震災の時に、救援活動で活躍したのが、東京消防庁のハイパーレスキュー隊。そのハイパーレスキュー隊が八王子市鐘水地区に配備され、町田市もカバーされることになりました。



速報! 10月より「ピロリ菌無料検査」開始、決定へ!

さらに、町田市民病院に「ピロリ菌外来」開設も前進!



皆さまの署名が
実現への大きな後押しとなりました!

石阪市長に8万人を超える署名を手渡すこいそ善彦(左から3人目)と公明党市議団

2013年度 ピロリ菌無料検査について

対象者	2013年度末で、55歳～64歳の方 ※受診対象年齢は、5年に1回で一巡しますので、すべての成人の方が受けられます。 ※2014年度以降の受診対象年齢は、随時決定します。
受診方法	市内協力医療機関に直接申し込み。 年度内に1回受診可能
受診期間	2013年10月～2014年2月(予定)

8万人を超える市民の皆さまから寄せられた「ピロリ菌検査」無料実施を求める署名を、2月13日、こいそ善彦と公明党市議団が、町田市の石阪丈一市長に提出いたしました。石阪市長から、実現に向けて前向きな回答が寄せられましたが、早くも本年10月からの、「ピロリ菌無料検査」の実施が決定いたしました! 具体的には、年度ごとに受診対象年齢を区切りながら、5年間で全成人を対象に検査を実施できる計画で進めます。まず初年度は、胃がん発症リスクが最も高いとされる55歳～64歳の方を対象にスタートします。署名へのご協力、大変にありがとうございました。また、公明

党の推進により、ピロリ菌除菌治療における保険適用範囲の拡大が厚労省で承認されました(慢性胃炎が確認された場合)。これからも公明党は、胃がん撲滅に向けて、全力で取り組んでまいります。